

5. 観光の振興

(1) 観光振興計画



【目指す姿・目標】

観光は、自然や歴史・文化、伝統工芸をはじめ農林水産業やサービス業など、幅広い分野に関わる総合的な産業として位置づけられています。これまでの観光施策の視点は、旅行業、ホテル・旅館業、飲食業及び物産や観光施設などの観光業が中心となってきましたが、「観光産業」は宿泊施設、飲食施設、観光施設、交通機関のみならず、これらに関連する農林水産業や製造業にも波及効果をもたらす裾野の広い複合産業として捉えることが重要です。

さらに近年は、アフターコロナ時代を迎え、更なるインバウンド需要が見込まれていることから、外国人観光客に対応した情報発信や受入体制の整備が必要となっています。

今後はそのような状況を踏まえ、インバウンド需要にも対応した魅力あるコンテンツの創出や受入体制の充実を図る必要があります。第一次産業から商工業者など幅広い関係者が協力し、これまでのアートの取組みや美しい自然、町の歴史・文化に立脚した豊かな暮らしをベースにして、学びのコンテンツや食（スローフード）などを加えた交流促進を図る必要があります。

【現況と問題点】

これまでの取り組みにより、つなぎ温泉四季彩、グリーンゲイト、つなぎ美術館などの観光施設や野外彫刻などを結ぶ散策ルートが形成され、旅行代理店などと連携した旅行商品の開発が進み、一定の成果は上がっています。しかし、出発地での営業活動や情報発信の不足などにより、都市部での認知度が十分でないなどの課題が依然として残っています。

一方で長年の懸案であった宿泊施設については、つなぎ温泉四季彩周辺魅力アップ事業の一環として、つなぎ温泉四季彩の2階に宿泊施設を設置する計画が進行中です。これにより、そこを拠点として町全体で観光客を受け入れ、おもてなしを行う体制を整える必要があります。

【計画の具体的目標と内容】

① つなぎ温泉四季彩周辺魅力アップ事業

- ・ つなぎ温泉四季彩リノベーション（宿泊交流施設整備）及び周辺整備
- ・ 低炭素型観光コンソーシアムの組成・運用による受入体制整備
- ・ 二次交通対策の実施

② 地域資源を活かした交流促進

- ・ アート、つなぎFARM、スローフードなどをテーマにした交流促進

③ インバウンド対策

- ・ 魅力ある旅行商品の造成
- ・ インバウンドに対応したハード・ソフトの整備

④ 観光施設の適切な運用、整備及び連携強化

- ・ 三ツ島海水浴場、赤崎ふれあい広場の整備
- ・ 町内観光施設の連携強化（イベント開催含む）

⑤ 観光情報の発信・提供

- ・ 観光ウェブサイトの運用、SNS等各種メディアの活用

観光開発指数

(熊本県観光統計調査他)

区 分		基準年次 (平成30年度) A	目標年次 (令和11年度) B	伸長率 B / A
観 光 客 数 (人)		127,544	150,000	117.6
うち外国人客数 (人)		150	2,000	1,333.3
内 訳	日 帰 客 (人)	127,544	170,000	133.3
	宿 泊 客 (人)	0	2,000	皆増
観光消費額 (千円)		369,878	536,668	145.1

【基本計画実施事業】

- ①公園等管理事業
- ②舞鶴城公園整備事業
- ③つなぎ温泉四季彩設備改修事業
- ④つなぎ温泉四季彩周辺魅力アップ事業
- ⑤物産館改修事業
- ⑥温泉センター・物産館施設の指定管理委託事業
- ⑦低炭素型観光コンソーシアム構想推進事業
- ⑧旧赤崎小学校跡地利活用事業
- ⑨津奈木駅トイレ改修事業
- ⑩三ツ島海水浴場利活用事業
- ⑪学びと交流による地域づくり事業（つなぎ型都市交流事業）
- ⑫つなぎ型関係人口構築事業